

2025年度全国地理学専攻学生「卒業論文発表大会」プログラム(主催:日本地理教育学会)

日時:2026年3月15日(日)9:30-15:11

Zoomによるオンライン開催

* 持ち時間は1人18分(めやす:発表13分, 質疑応答4分, 交替1分)

第1会場

時間	番号	氏名	ふりがな	所属	タイトル
9:30-	101	小玉 真由	こだま まゆ	法政大学・文学部・通教	サンシェードを利用した屋外避難時の暑熱環境—夏季の群馬県高崎市を事例に—
9:48-	102	馬場 皓輝	ばば こうき	筑波大学・生命環境学群	中米マヤ地域の気候とその変動
10:06-	103	橋本 和璃	はしもと あいり	奈良女子大学・文学部	京阪奈丘陵に分布する下部更新統大阪層群精華累層の堆積環境
10:24-	104	山宮 美咲	やまみや みさき	お茶の水女子大学・文教育学部	足柄平野の表層地下地質と関東大震災の被害の関係
休み(10:42~10:47)					
10:47-	105	伊藤 大智	いとう だいち	東京都立大学・都市環境学部	飯豊山地の偽高山帯における高山植物群落の過去55年間の変化
11:05-	106	吉川 慧子	きっかわ さとこ	国土館大学・文学部	広島県安芸高田市における社寺境内に生育する樹木の樹種構成とその分布特性
11:23-	107	金子 明音	かねこ めいと	法政大学・文学部	大山山頂部に成立するキャラボク林の分布と積雪分布およびブナ林との関係
昼休み(11:41~13:00)					
13:00-	108	河合 空	かわい そら	専修大学・文学部	千葉県木更津市の田園地域における有害鳥獣駆除が鳥類の逃避開始距離に与える影響
13:18-	109	伊藤 迪	いとう ゆう	奈良大学・文学部	奈良県北部におけるコエビ下目複数種の地理的分布と環境要因
13:36-	110	城内 康徳	きうち やすのり	専修大学・文学部	岐阜県東濃地方における湧水湿地の環境とヒメヒカゲの分布
休み(13:54~13:59)					
13:59-	111	川村 勇貴	かわむら ゆうき	明治大学・文学部	津波被災地における住民の居住地選択と地域社会の再編—福島県いわき市薄磯地区を事例として—
14:17-	112	高澤 侑二郎	たかざわ ゆうじろう	茨城大学・教育学部	「津波死ゼロのまちづくり」推進地気仙沼市における転入者を包摂する地域防災の展開
14:35-	113	伊藤 萌花	いとう もか	横浜国立大学・教育学部	子どもの居場所における地域的公正に関する考察—川崎市と横浜市の放課後居場所事業の比較を通して—
14:53-15:11	114	田中 旭	たなか あさひ	富山大学・人文学部	「地理総合」国際理解・国際協力分野での地図・GIS活用における教員の専門性形成—富山県内高等学校を事例に—

第2会場

時間	番号	氏名	ふりがな	所属	タイトル
9:30-	201	伊藤 日向美	いとう ひなみ	筑波大学・比較文化学類	東京都江東区深川地域における妖怪コンテンツの観光資源化―「深川お化け縁日」を事例に―
9:48-	202	古矢 駿	ふるや しゅん	国土館大学・文学部	都道府県別に見た温泉地のイメージに関する研究―テキストマイニングを用いた新聞記事の分析―
10:06-	203	辻田 裕紀	つじた ゆうき	立命館大学・文学部	三重県湯の山温泉における外来資本の参入とその特性―廃業後の宿泊施設に着目して―
10:24-	204	岡崎 裕太	おかざき ゆうた	神戸大学・文学部	ジオパークがもたらす場所ごとの物語性構築の差異
休み(10:42～10:47)					
10:47-	205	小峠 輪空	ことうげ りんく	奈良大学・文学部	芦別市・赤平市における観光の現状と課題
11:05-	206	赤坂 航佑	あかさか こうすけ	東京学芸大学・教育学部	茨城県筑波山におけるロードツーリズムの実態―サイクリストに着目して―
11:23-	207	高橋 冴	たかはし さえ	富山大学・人文学部	富山県南砺市における小規模多機能自治組織の展開と「外生的基礎組織」の存立条件―社会地域構造によるローカル・ガバナンスの類型化に着目して―
昼休み(11:41～13:00)					
13:00-	208	五十嵐 浩輔	いからし こうすけ	東京学芸大学・教育学部	新潟県蒲原平野における稲わら焼却の衰退―自然の政治学的アプローチを用いて―
13:18-	209	堀 楓	ほり かえで	奈良女子大学・文学部	農業用ため池における水上設置型太陽光発電設備の立地決定過程―兵庫県加古郡稲美町を事例として―
13:36-	210	野坂 優正	のざか ゆうせい	愛知大学・文学部	黒部川扇状地における散居村の空き家問題―伝統的景観の喪失と今後の保全―
休み(13:54～13:59)					
13:59-	211	伊地知 真	いじち まこと	横浜国立大学・教育学部	在来大豆における振興プロセスの差異とその要因―首都圏の在来大豆3品種を事例に―
14:17-	212	安西 向日葵	あんざい ひまわり	駒澤大学・文学部	近郊農業の持続要因に関する研究―千葉県鎌ヶ谷市における梨の生産と販売を事例として―
14:35-	213	竹内 駿介	たけうち しゅんすけ	立正大学・地球環境科学部	栃木県宇都宮市における田んぼダムの現状と今後の課題

第3会場

時間	番号	氏名	ふりがな	所属	タイトル
9:30-	301	牧 亜莉沙	まき ありさ	同志社大学・グローバル地域文化学部	遊び場から見えるアメリカ都市における空間的正義—KABOOM!による遊び場づくりの実践—
9:48-	302	西井 日奈子	にしい ひなこ	筑波大学・比較文化学類	東京都中央区西仲通り商店街における商店街の変容メカニズム—経営者コミュニティに着目して—
10:06-	303	四方 晴喜	しかた はるき	駒澤大学・文学部	宇検村における「さばくり」の広域化
10:24-	304	鈴木 湧登	すずき ゆうと	新潟大学・教育学部	シドニーにおける新興の南アジア系エスニック・エンクレイヴの形成過程—ハリスパークのリトルインディアを事例に—
休み(10:42~10:47)					
10:47-	305	小林 明浩	こばやし あきひろ	法政大学・文学部	静岡県における家具産地の再編と存続条件
11:05-	306	竹内 沙織	たけうち さおり	法政大学・文学部・通教	山口県萩地域におけるGI制度を通じた清酒産業のブランド構築過程
11:23-	307	神本 生優	かみもと きゆう	愛知県立大学・日本文化学部	自治体による関係人口創出事業に関する研究—TENJIKU吉野の活動を事例として—
昼休み(11:41~13:00)					
13:00-	308	楠本 悠太	くすもと ゆうた	筑波大学・生命環境学群	地方の中規模型アートプロジェクトにおける文化ボランティアの継続要因に関する考察—中之条ビエンナーレ『ナカミーゴ』を事例に—
13:18-	309	片桐 大智	かたぎり たいち	立正大学・地球環境科学部	新潟県長岡市山古志における手掘り隧道の保存プロセス
13:36-	310	浅田 早恵	あさだ さきえ	立命館大学・文学部	記憶地図から読む歴史的な町の生活場所の変遷—名古屋市有松地区を事例として—
休み(13:54~13:59)					
13:59-	311	平賀 千巴夜	ひらが ちはや	お茶の水女子大学・文教育学部	住宅地近接型花火大会における苦情発生の要因分析および試行的リスク評価
14:17-	312	長島 晴一	ながしま はるいち	東京都立大学 都市環境学部	観測データに基づく歩行者の行動予測モデルの構築—Operational Levelのマルチエージェントシミュレーションを目指して—
14:35-	313	鈴木 碧	すずき みどり	日本大学・文理学部	東京都大田区における災害時の緊急車両の到達に関する分析